

みんなのページ

身の回りの出来事などを500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。あて先は(〒950-1292 白根市大字白根1235 白根市企画財政課秘書広報係)です。

白根高校のおもいで

荒木 宏 (八十歳・和泉)

昭和三十六年、町村合併以来の念願であった「白根市に高校を」という声を受け、吉沢新市長のときに誘致が行われました。戦後、米の増産を図るために設置された県の研究試験田一町歩を譲り受け、買収が進められました。初めは一反当たり六十万円交渉が行われましたが、回を重ねることに高くなり、ついに九十万円まで上昇。買収は行き詰まってしまいました。そこで和泉が四十万円を誘致運動を始めると、浦梨も呼応して誘致合戦が行われました。しかし、九月十六日の第二室戸台風による大災害の混乱で急転直下、当初の六十万円に決まったのです。昭和三十八年四月に開校され、あれから四十年。今では文京地区として開



白根高校玄関前の三本松

昭和三十八年、金毘羅神社境内(現在の産業厚生会館用地)にあった松を移植 (写真は荒木さん提供)

校が進められ現在に至ります。当初、厳しい労働の余暇に夜間通学する定時制生徒の便を図るため、街灯の設置を要望し、点灯されたときのうれしさは夢のような思い出でした。まさに白根の夜明けでもありました。電球を取り替えるために、その都度市の総務課に向いた思いは、今も大切に胸に刻み込まれています。

花と友にありがとう

笠原 節子 (六十四歳・上鷲ノ木)

「もしもし、咲き始めたよ、早く来て」とわたし。「咲いたの? もう少ししたら行くね」と電話の向こう。台風7号の余波でしょうか、どしゃ

降りの雨と強風の中で、大きなつばみをつけた月下美人の鉢植えが、コロコロ転がっていました。アロエにも似ている大きなギザギザの葉っぱに、風船が膨れかけたような柔らかな花が、救助を求めているかのようでした。「何でこんな夜に咲くんだろうな」と主人の一言。テレビでは佐渡の現状と大雨洪水警報を報じていました。バケツをひっくりかえしたような激しい雨の中、友人は集まってくれました。玄関に取り入れ、化粧直しをした月下美人。眺めている間にみるみる開花、優雅な十一個が咲きました。その場でくぎ付けになり、談笑にふけていました。もちろんビデオで記念撮影。台風のことすっかり忘れて花仲間と風呂仲間でした。

家族の一員としての仕事

長沢 涼 (十歳・西笠巻2)

家族の一員としての、わたしの仕事はおおろそろそです。それは、一年生の夏休みから始めました。家のお手伝いを何にしようかまよっていたとき、お母さんに相談して決めました。そして、一年生の夏休みが終わってからもつづけてきました。たまにわすれるときもありますが、これからもできるかぎりつづけていきたいです。きれいなお風呂に入るのは、気持ちがいいですからね。

広報クイズ

図書券が当たる!

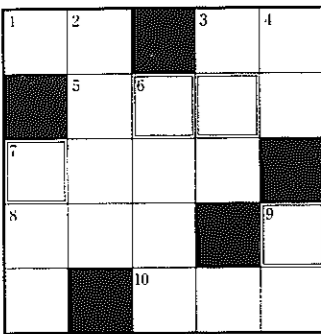
はがきに答え(完成図は不要です)、住所、氏名、年齢、市や広報紙への意見(市から回答が必要な場合は、その旨)を書いて、11月18日(月)必着で白根市企画財政課秘書広報係(〒950-1292 白根市大字白根1235)へお送りください。※EメールでもOK。正解者の中から抽選で3人に500円の図書券、5人に粗品を差し上げます。正解者の発表は12月1日号で行います。10月1日号の正解はモミジガリ。正解者は24人でした。▼図書券 水野弘規(上塩俵)、渡辺イツ(十五間)、星野哲郎(大通南4) ▼粗品 道下玲奈(大通黄金3)、星友基(新町)、霜越涼子(大通南1)、本間敦子(東町)、中島光(庚) ※敬称略

ヨコのカギ

- ①頑強なこと、スタミナがある
- ②同じ親から生まれた年上の男
- ③〇〇〇〇マッチ
- ④〇〇〇〇物語、動物を登場人物に仕立てた小説
- ⑤家電を反対から読むと
- ⑥有限

タテのカギ

- ①袖丈の長い袖
- ②アンプリファイアの略
- ③雨上がりに見られる7色の光
- ④イングランドサッカー界の貴公子
- ⑤〇〇〇〇ヘア
- ⑥印度
- ⑦1,000



□の字を並べてください。茶葉子には、これが最高です

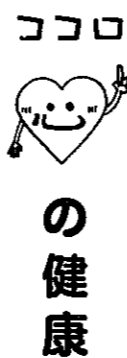
- ① バランスの良い食事 (特にビタミン・カルシウムが大切)
- ② 十分な睡眠
- ③ 適度な運動
- ④ 趣味を持つ

ココロとカラダを強く

心と体は連動しています。ストレスに負けないためには、両者が健康であることが大切です。

ストレスと心

人の心は、お母さんのおなかの中にいるときから成長し始め、家庭や社会での経験などを通して、はぐくまれていくものです。この過程でストレスに負けないための能力を身につけますが、その能力が未熟であったり、ストレスが強すぎたりすると心がバランスを崩し、病気になる可能性があります。



ココロの健康

広がれ 健康家族 保健福祉課 ☎ 237

声を出そう

心の悩みをひとりで抱え込まないことも重要です。相談することで、解決の糸口を一緒に見つけましょう。

解決の糸口を探お手伝いをします 市の心の健康相談 毎週火曜☎372・3989(直通) 新津健康福祉環境事務所 随時☎0250・22・5171

これらのほか、医療機関での精神科、心療内科などもご利用ください。

市民文芸

俳句 数葉を分けてまさぐる花若荷 池泉 北魚 うすうすと昼の月ある芒原 小林 光子 鎌を上げ大端の動かさる 本間しげ子 虫の音の真只中にある草屋 安澤 飛浪 土用芽を残して枝を切り落とす 五十嵐理恵 病む吾に夫の南瓜煮うまかりし 小林 すみ 残暑とはか、る日のこと仕事終ふ 相田 照子 静かなる二百十日の神詣 古川 綾 秋の虹消えてしばらくある如し 公條 雪夫 南瓜茄子売って桃買ふ朝市女 樋口 トシ ありなしの風にそよげる花芒 笠原 里津 宝石箱のやうな句集や秋灯火 和泉 伸子 独り身の気ままの秋も淋しけれ 五十嵐寛吾 秋立つや路地裏までもピアノ曲 木村 トリ 十月の蟬ごえ簡にして至近 山田 栄一 草じらみつけ良寛に逢ひにゆく 真嶋つぎえ 秋日和産者の白を天に干す 小林富沙子 初なるの新種の林檎佛だんに 知野信一郎 宝石と見紛う実石櫛無骨手に 小林 なお 蟬時雨沸くや寒點の一日暮れ 田中美根子 よろけつつ萩咲く影へ猫の行く 小林里代子 子端端すでに敵意の鎌上げて 丸山 虚秋 色あせしマフラー巻けば霧が降る 渡辺 勤 短歌 爽く月の中天に入り凜と澄み 川村まさし 明けやらぬ文月の空に仄白く水母に似たる月の残れる 関 悦子 夜の更けて暗き水面をながれば遠くに浮かぶいさり火一つ 出来島ミサホ とめくり秋風遊ぶ 星 ハツノ 葡萄棚こえて伸びたる向日葵がひねもす 揺れて笑みを絶やさず 村山 和江 秋晴れに稲田色つき蒲原の里に広がるこがねの穂波 河内 公夫 世の中は宝積み置くものと聞きただひたすらに働かしと 小出熊四郎 紅葉は山奥も平場に咲くコスモスのまざりし花色かな 品田 三郎 川柳 過労死を靴につめて出社する 吉川 彰 早起きは三文の得嫌われる 山岡 フミ 働いた後の空気が軽くなる 今井 七郎 湯豆腐がコトコト今日も無事でした 織田 セツ 豊作を祝っているのは雀だけ 大谷 龍吉 もう一度脳味噌ふってみる余生 佐藤 ヨキ サスペンス見過ぎ夜半にうなされる 田中 弘子 輪の中に入ると妥協癖がつく 田村 恒夫 五・七・五永久に一句の命生き 中村 尚治 介護も投げ出したいと老いし友 西条 ムラ 年金も家計の足しにされている 河内 勝哉 コシヒカリ深層水で炊いてみる 今井八重子